にごにご窓窓のニュースレター 2018年5月号 第133号

春の陽気を感じていていらあっという間に 5月に入っく ましている。新禄を見ると、心が落ら着る>庵をれるす。 5月といえば、GWですが、皆様はどのように過ごとれるしてこか? 家族や友人とが行に付ってり、お家で、ゆっくりしたりと 様々ででと思いるすが、楽しい時間はあっという間に終わっ てしてあったのですが、予定海りに戻りてこい事や行るたい 中があったのですが、予定海りに戻りできなかったのでで 連行不が明けてにがりなるに、>又の連行ななりであった。 ちの時こそ、どこへ行って何をして へ いなではかり 考えて しょっています。(笑).

毎年のいが明りるとすぐに梅町時期に入り、一気に真复の気温にはりますい。今の気温ですらすごくかし暑くれてアコンをつけためまりた。
この時時からエアコンを何けていたら真夏の時期はとづかける
のか今から不安に思かところがありますがい、(笑)、たこだ。
突然、悪くなる目もあるので、気がします。ではず体調解はない

ひとりょう。ツバダの子育で

先日、今年初めてのツバメを見かけました。毎年春に日本へ訪れて、 人家で子育てするツバメたち。日本野鳥の会では、2013年から「ツバメの子育て状況調査」を行っているそうですが、その調査で、都心において1巣あたりの巣立ちヒナ数が、郊外に比べて少ない傾向が見えてきたそうです。調査では、ツバメの巣と子育てを観察し、何羽のヒナが巣立ったかなど、情報を提供してくれる方を毎年募集しているそうです。



うとす。 今年もあちこちで、ひなのかわいい姿を見られるといいですね。

多年連続 県内売上高

は、株式会社 いわき土地建物 「日 0800-123-3719

ひとくちメモ

国土交通省が3月に発表した平成30年県内公示地価では、住宅地の上昇率が5年連続プラスとなりましたが、上昇幅は昨年より縮小、特にいわき市の住宅地の平均変動率はプラス2.6%となり、前年(プラス4.3%)一昨年(プラス6.7%)と比較し、上昇率の鈍化が鮮明になりました。

地価動向の分析によると、主な要因として、東日本大震災・福島 第一原発事故の被災者の移転需要の大幅な減少があげられるといい ます。特に平中心市街地に加え、双葉郡から遠い市内南部などが顕 著となっています。他方で、平地区中心部やいわきニュータウン、 JR泉駅周辺の住宅地など、利便性に優れる住宅地では在庫がほぼ完 売しており、エリアによって住宅市場の状態に違いが生じています。 今後の見通しについては、上昇幅が縮小していく速度が予測より かなり遅く、急速な下落・縮小はまだ見られず、当面高止まりの状 況が続くのでは、との専門家の分析もあるようです。

市内の最高価格は、住宅地が「平字作町三丁目1の16」の1㎡あたり7万9100円、商業地が「平字三町目28」の同15万6000円、工業地が「小名浜島字高田町31の3」の同1万5000円でした。

資金計画 | 自己資金 | 住宅ローン | 税金 | 建物状況調査 | 引越し

これを読めば、不動産取引の基本的な流れが良くわかる



『誰も教えて《れない不動産の賢い購入法』

この度、土地・中古住宅の購入における基本的な流れや、不動産取引の様々な事について一冊の本にまとめてみました。 これを読めば不動産取引の基本的な流れが良くお分かり頂けると思います。 この冊子をご希望の方は小島北店までご連絡ください。

無料進呈中

Free Call 0800 - 123 - 371